

商標登録及び特許について

Ninebot は Ninebot Inc.の登録商標です。ARM は株式会社 ARM の登録商標。iPhone は株式会社 Apple の登録商標。Android は株式会社 Google の登録商標です。

Ninebot Inc は『Ninebot』、『Ninebot®9』のアイコンのすべての権利を所有します。Ninebot Inc.は Ninebot に関する多くの項目の特許を所有します。本書は Ninebot によって制作されたすべての著作権を所有します。他のいかなる機関と個人は Ninebot Inc の書面許可なくして本書の全てもしくは一部を転写か複写する権利はありません。

マニュアルは基本的に Ninebot の各機能紹介と取扱い方法を記載しています。ただし、商品リニューアルの際は、ご購入された Ninebot と記載仕様が異なる場合があります。最新情報は Ninebot の日本総代理店のオフィシャルサイトにてご確認ください。Ninebot は多数のモデルがあるため、本書にある機能がお客様の Ninebot に標準装備されていない場合があります。例: 遠隔操作機能は NinebotO 型モデルでは使用できません。ご注意ください。商品のグレードによって、本書の画像と実際の商品の色、外見などに差異がある場合には、実際の商品を基準としてお考えください。

マニュアル:V1.0.3

マニュアルについて

この度は Ninebot (Ninebot®) をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は Ninebot® N1U シリーズに適用した商品取扱説明書です。

- Ninebot® の基本操作及び手順及び運転方法、リモートコントロール方法の習得
- 運転時に守るべきルールやスキルを身につけ、より快適な運転を体験しましょう。
- Ninebot® の仕組み構成及び動作原理、日常点検の方法の習得。
- より安全に、より楽しくお使いください。

詳しい情報を知りたい場合は本マニュアル第 7 章 (Inside Ninebot) を参照するか、Ninebot ホームページをアクセスしてください。

- 下記のマークの意味をよく理解してください。本書で特に重要な内容を記載しています。



危険！人身障害や財産損失を招く恐れがある。



警告！間違った操作は故障を招く恐れがある。



疑問解答



情報提示

マニュアルについて.....	II
第一章 Ninebot®紹介	5
1.1 Ninebot®とは	5
1.2 NinebotN1U シリーズ紹介	6
1.3 NinebotN1U 各部品名	7
第二章 Ninebot の組立	8
2.1 梱包部分の確認	8
2.2 シリアルナンバー/登録保証書.....	10
2.3 新車の組立	12
2.3.1 組立準備	13
2.3.2 ハンドルバーの組立.....	13
2.3.3 バッテリーパックの組み付け.....	15
第三章 安全運転ガイド.....	17

3.1 遵守事項.....	17
3.2 禁止事項.....	17
3.3 安全運転注意事項.....	20
3.4 安全を守るために.....	21
3.5 スマートシステムの説明・自動保護.....	21
第四章 運転の方法.....	25
4.1 運転する前の準備.....	25
4.2 Ninebot を起動(電源オン).....	26
4.3 乗車前の注意事項.....	26
4.4 乗車及びバランス取り.....	28
4.5 前進/後退.....	28
4.6 ブレーキ.....	30
4.7 回転.....	31
4.8 降車.....	32

4.9	スピードリミット	33
	スピードリミットモードでのパネル表示	33
4.10	アシストモード	33
4.11	ロックモード	34
4.12	各種運転モードの説明	35
4.13	リモートキー及びデジタルパネルの説明	36
	4.14.1 リモートキーの基本機能	36
	4.13.2 リモートキー機能の拡張	40
	4.13.2 デジタルパネル上のアイコン	41
第五章	その他の機能紹介	43
5.1	愛車と共に	43
5.2	スタンドの利用	43
5.3	リモートキーでの操作	44
5.4	ninebot の車載 USB ポートを使用して他の電化製品への充電	46

ナインボットユーザーマニュアル

5.5 高さの異なるハンドルバーの交換.....	47
5.6 タイヤ交換.....	47
第六章 日常メンテナンス.....	49
6.1 お手入れと保管.....	49
6.2 バッテリーパックのメンテナンス.....	50
6.3 ねじの締め付け点検.....	52
6.4 タイヤ空気圧点検.....	52
6.5 運搬、自動車のトランクに入れる.....	52
6.6 定期メンテナンス.....	53
第七章 Inside Ninebot.....	57
付録1.Ninebot シリーズスペック表.....	58
付録2.よくある質問.....	63
お問い合わせ.....	65

第一章 Ninebot®紹介

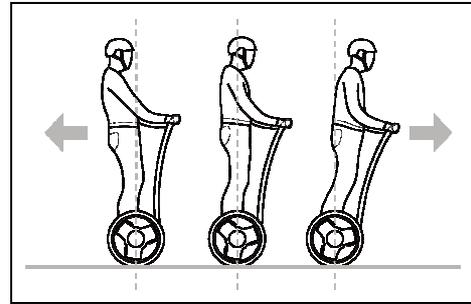
1.1 Ninebot®とは

Ninebot® Personal Transportation Robot(日本語名: Ninebot)は新型の個人サービスロボットであり、新しい形態の電動バランス車です。運転者が車体に立ち、身体の動きで車体の移動を操作できます。さらにスマートフォンなどの携帯式通信デバイスでロボットをコントロールし、無人運転も実現できます。Ninebot の特徴は:

1. タイヤの配置が前後ではなく、左右対称の形です。回転はゼロ半径なので、動きは自由自在。
2. 運転時に、アクセルやブレーキではなく、運転者の身体の動きでコントロールをします。快適に運転、素早く反応。

内部装置の精密姿勢センサーを利用し、内部搭載の高速CPUは200回/秒の速度で車体前後方向のバランスを計算します。バランスが崩れていれば、CPUが車体両側に装置しているモーターを瞬時に動かし、車体がいつでもバランスを取る状態を保持するよう制御します。車体が自動的にバランスを取るため、運転者が体を前に傾斜すれば、車体はタイヤを前方向に動かし、車体が前進します。後ろに傾斜させると後退します。左右にハンドルを回すと左折・右折することができます。

Ninebot®の車体バランスは高速CPU、精密ジャイロスコップ、モーターの3つの主要部品で制御されています。そのうちのどれかが故障すると、車体がバランスを失ってしまいます。それを防ぐ為、Ninebot®ではバックアップ・コントロール・システムを装置しています。この装置は車体内部全ての重要回路やシステムに予備が付いており、万が一重要な回路で故障が発生しても代わりに予備用のパーツが作動します。



Ninebot®は人とほぼ同じサイズでコンパクトな、機動性の高い非常に便利な交通手段です。Ninebot®は車というより徒歩に近い乗り物です。車移動では近すぎる、徒歩移動では遠い、そのような距離の移動に Ninebot®は非常に便利です。

1.2 NinebotN1U シリーズ紹介

シリーズ	特徴	適用範囲
C 型(コンフォート型, Comfort)	コストパフォーマンス高、最高時速 18km/h、スタンダードモデル。しかし、リモコン機能は付いていない。	コストパフォーマンスを重視する人
E 型(エリート型, Elite)	C 型ベースに: <ul style="list-style-type: none"> ● ハイパワー動力、最高時速は 20km/h にアップ; ● Bluetooth リモコン機能付; ● 無線リモコンキー機能付; ● 付属品: スタンド×1, 付属ラック×1、備品リモコンキー×1; ● オペレーションバー・ムードライト付。 	標準仕様とリーズナブルな価格。
T 型(ターボ型, Turbo)	E 型ベースに: <ul style="list-style-type: none"> ● Dual winding モーター/“ターボチャージ”モード、最高時速 22km/h まで、最大荷重 120kg へ; ● 高容量バッテリー、使用時間を 1/3 アップ; ● 専用高速充電器、約3時間で満充電 ● 専用泥除けムードライト; ● 迷彩風カバー×1; 	最高効率と持久力、最高の安全性。身体サイズの大きいユーザーに最適。

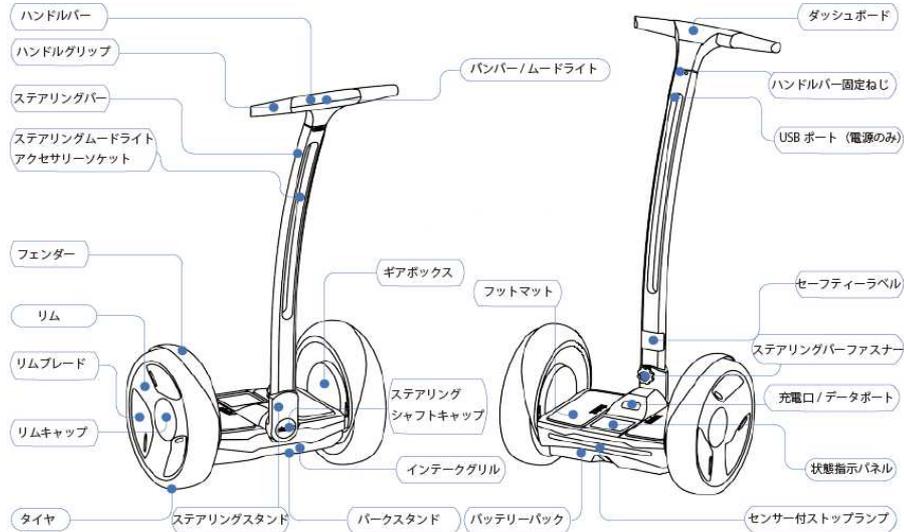
Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

- その他付属品: 備品スタンド×1、付属ラック×1、キャリーバッグ×1。

*今後 Ninebot は多くの車種をご提案申し上げます。さらに多種類のオプションパーツとカラーカバーも随時追加していきます。詳細は

www.ninebot.com

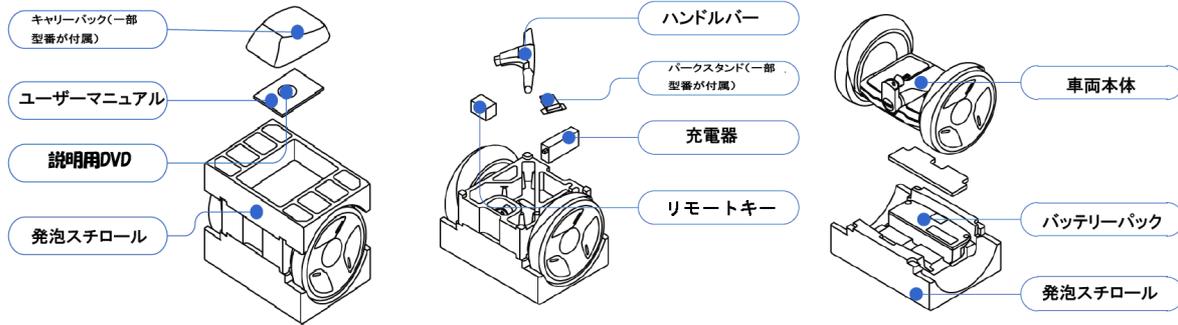
1.3 NinebotN1U 各部品名



第二章 Ninebot の組立

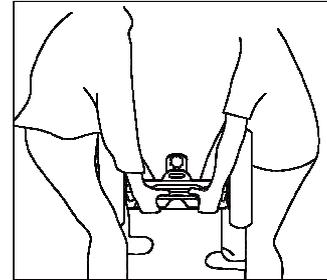
2.1 梱包内容の確認

箱を開けた後、ハンドルを取り出し、次に包装材料を取り出して、最後に車体を取り出してください。



ボディ部分が重いので取り出す際にはお気をつけください。安全のために2人以上で作業してください。取り出す時は車体前後を持ち、フェンダー部は持たないようにしてください。怪我をする可能性があります。

Ninebot を取り出したら、必ず付属品を一度確認してください。
 付属品が足りない場合は直接販売会社にお問い合わせください。



	C 型(コンフォート型)	E 型(エリート型)	T 型(ターボ型)
車体シャーシ(タイヤ、ボルト)	1 セット	1 セット	1 セット
バッテリーセット	1 個 450Wh	1 個 450Wh	1 個 670Wh
充電器	1 セット 130W	1 セット 130W	1 セット 300W
ハンドル(青いシリカゲルを含む)	1 セット	1 セット	1 セット
標準ハンドルバー	1 個	1 個	1 個
リモートキー	1 個	2 個	2 個
ねじ及び道具	ネジ3袋, 工具 1 セット	ネジ 4 袋, 工具 1 セット	ネジが 4 袋, 工具 1 セット
説明書、安全運転説明DVD、保証書、コーションラベル	1 セット	1 セット	1 セット
スタンド	なし、購入必要	1 セット	2 セット
付属品スタンド	なし、購入必要	1 セット	2 セット

ナインボットユーザーマニュアル

	C型(コンフォート型)	E型(エリート型)	T型(ターボ型)
ハンドルバー収納バッグ	なし、購入必要	なし、購入必要	1セット
カラースタイルセット	なし、購入必要	なし、購入必要	1セット
ハンドルバー雰囲気ライト	なし、購入必要	有り	有り

2.2 シリアルナンバー/登録保証書

保証書に商品の保証条項、修理と予備サービスの連絡方法を記載しています。保証書には販売会社が署名した保証有効期限、連絡方法とサインをしています。また保証書の最後のページにはシリアルナンバーを貼付しています。

シリアルナンバーは14桁のアルファベットと数字の組み合わせです。以下の場所でそのシリアルナンバーを確認できます。

- 保証書最後のページ。
- 車体下バッテリー装着部位。
- 包装箱の外側。



シリアルナンバーラベル



Ninebot のシリアルナンバーは大切に保管してください。シリアルナンバーと保証カードは無料で修理する場合に必要となります。3 つ(本体、ハンドルバー、リモコン)のシリアルナンバーが同じかどうかを確かめてください。もし欠如や不一致なら、非正規商品となります、すぐに販売会社にご連絡ください。

2.3 新車の組立

全ての部品を確かめた後で、下記の手順で組立ください



運搬時、また部品のメンテナンス前には、必ず電源を切ってください。

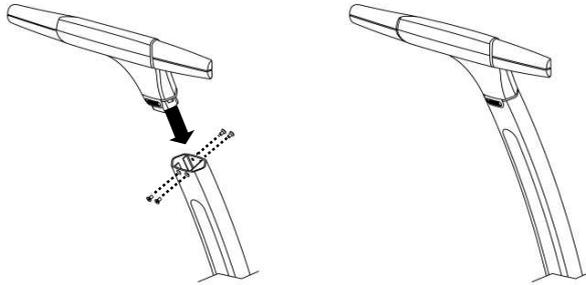
2.3.1 組立準備

ninebot を組立る前にパッケージの中から弊社から提供している六角形スパナセットを取り出してください。今後メンテナンスや輸送の時使用する道具なので大切に保管してください。

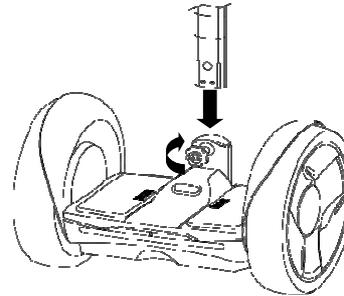
作業時には、手を汚れや傷から守るために手袋を装着してください。

2.3.2 ハンドルバーの組立

「M 4 * 8 六角ネジ」を取り出し、2.5mm 六角スパナを使用して締めてください。



デジタルパネルをハンドルバーに差込み、2.5mm 六角スパナを使用して締めてください。



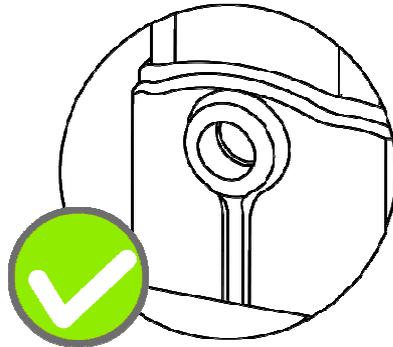
ハンドルバーを車体に確実に挿入して、つまみを時計回りに回して締めてください。



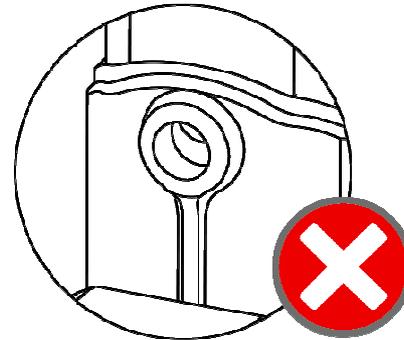
ネジの取り付・取り外しの際はマニュアル6.3節に従って行ってください。もし分からない場合は弊社サポート部にご連絡ください。



ステアリングバーを取り付けする際、バーを確実に本体に挿入します。図のように本体側の穴とステアリングバー側の穴が一致したら締め付けます。確実に取付が出来ているかご確認ください。締め付けが不十分な場合、途中で外れて危険ですので十分注意してください。



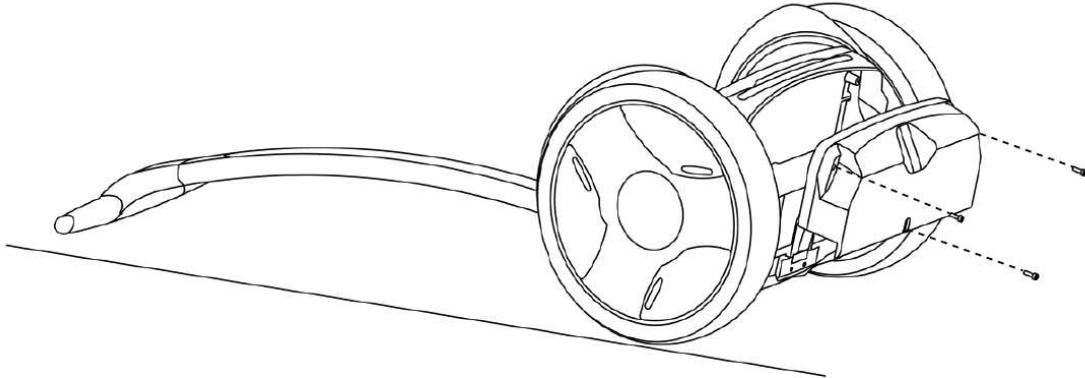
設置正しいハンドルバー



設置不正ハンドルバー

2.3.3 バッテリーパックの組み付け

M5 * 16 六角円柱ネジを取り出して、4 mm 六角レンチを使ってねじをバッテリー中間穴に取り付けて締めます。M5 * 12 六角円柱ネジ取り出して、ねじ込みバッテリーの両側に穴ねじを入れ込んで締めます。最後に中間と両側のネジを外れないように確実に締めます。



車体を平置きにして、バッテリーを車体に入れ込んでネジを締めます。



車体を置くときは、本体に傷をつけないように梱包材などを使用してください。バッテリーセットを取り付けた後、確実にネジを締めてください。その後 ninebot を立てて電源を入れてデジタルパネルが表示されるかを確認します。

第三章安全運転ガイド



この章は非常に重要です。必ずお守りください。当社はこの安全運転ガイドを無視し、違反行為に及んだすべてのトラブルに関しての責任は負いかねます。

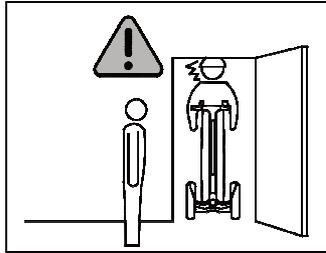
Ninebot は一種のレジャー商品です。必ずマニュアル第三章をお読み頂き、ご理解の上、周りに注意し、安全運転に努めてください。
Ninebot を公園などで乗る場合には、予期せぬトラブルや危険運転、不当操作によるリスクがあります。安全運転ガイドの通り操作し、周囲の状況に十分注意しながら、周りの歩行者などと十分な距離をとり、安全運転を厳守してください。

3.1 必ず守る

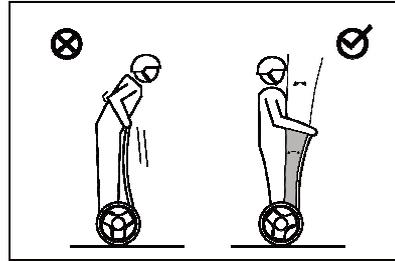
- 各地の交通ルールを理解し守ること。日本の現行の道路交通法制度上、公道での走行は認められていません。
- 必ずヘルメットを着用してください。
- 充電状況とバッテリー残量を確認して、バッテリー残量が 4 以下でしたら長距離運転は止めてください。途中でバッテリー量が無くなる可能性があります。
- 6 時間以内にお酒、鎮静剤や他の精神薬類を飲まれた場合は乗車、運転は絶対にしないでください。

3.2 禁止事項

- Ninebot を運転する時、歩行時より約 20cm 高いのでドアや入口を通過する時十分注意してください。(下記図①参照)
- 運転中体をハンドルバーに体を寄せ過ぎると転倒する可能性があります。体を少なくとも 10cm 以上ハンドルバーから離してください。(下記図 ② 参照)

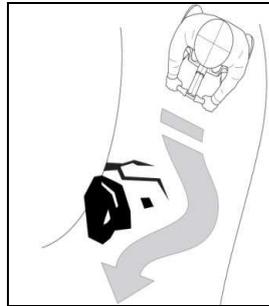
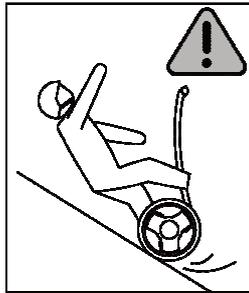
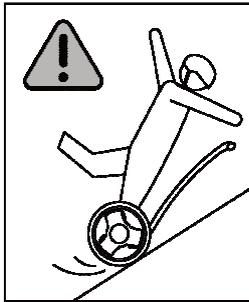


図①

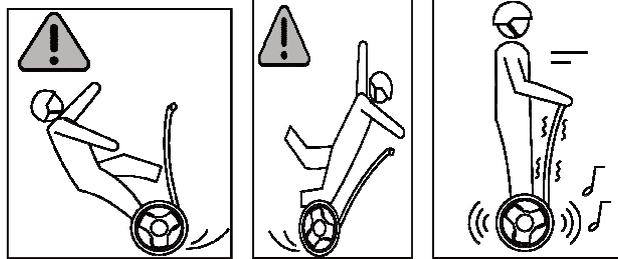


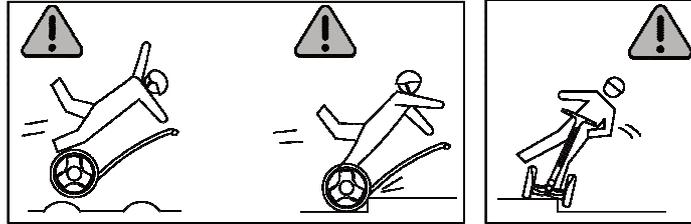
図②

- 製品の使用条件を満たさない場所、例えば深い溝がある道や割れ道、15度以上の登坂や3 cm以上の水路や水溜りなどでは運転を避けてください。



- 階段の上り下りは禁止です。Ninebot が宙に浮く(高い場所から降りるなど)ような運転も禁止です。路肩に跨って運転することも禁止です。必ず水平な場所でのみ運転してください。
- 公道での乗車は禁止です。
- 2人以上での Ninebot の乗車、運転は禁止です。また、幼児を抱くか背負って運転をすることも禁止です。運転する時、手をハンドルバーから離す行為を厳禁します。
- 14歳未満の子供と65歳以上の老人が単独で運転するのを禁止します。補助をする方がいる場合は運転をすることが可能です。妊婦、酒気、精神の疾病、心臓の疾病、体が不自由の方(行動の明らかに制限させられた身体障害者)が運転をすることを禁止します。
- 安全でない場所・環境下で Ninebot を運転すると、火災などが起こる可能性があります。
- 高速で後進する行為は危険ですのでご注意ください。運転する時に携帯電話の使用はご注意ください。
- 大雨、雪、路面凍結、地面に溜まった水、濡れている路面などの悪天候や道路状況の下で運転することを禁止します。
- 当ハンドブックに違反して乗車・運転することを禁止します。特に“警告”と“注意”の中で明確に禁止されている内容はお守りください。





3.3 安全運転注意事項

- 1 Ninebot を運転する時は各地の交通ルールに従ってください。
- 2 運転に慣れている場合でも周囲の人と十分な距離をとり、離れて安全運転をしていつでも止まれるように気をつけてください。
- 3 急加速や急減速は避けて、安全に運転してください。
- 4 周囲に十分注意して運転してください。通行人、特に小さな子供には十分気をつけて、距離を置いて走行してください。歩行者の後方を通る時、歩行者に注意喚起して、徐行で通過します。できるだけ左側から通過しましょう。通行人とすれ違う時は、右側からスピードを下げて通行しましょう。
- 5 歩行者が多い時の乗車はしないでください。周囲に十分な空間がある場合は周囲に注意しながら使用しましょう。人混みの中を乗車して通り抜けるのは非常に危険です。絶対にお止めください。
- 6 別の Ninebot を運転する方と一緒に外出する時、適切で安全な距離を維持して障害物などに気をつけて運転しましょう。
- 7 Ninebot を通行の妨げになる場所には駐車しないようにしてください。
- 8 視界の悪い状況下での運転は避けてください。
- 9 走行中は頭を上げて、膝を曲げ、体をリラックスさせてください。
- 10 バック走行は危ないので出来るだけ行わないでください。バック走行を行う場合はゆっくりと短距離バックしてください。



急加速・高速走行は、運転者の体がハンドルバーに引き寄せられて Ninebot がアンバランスになり運転者が転倒して怪我をする恐れがありますので絶対にお止めください。また、ハンドルバーに体を寄せるとバランスが悪くなるので適切な乗車姿勢を保ってください。

3.4 安全を守るために

マニュアルをよく読み DVD をみて内容を十分理解してください。

- 1 他人がマニュアルや DVD の内容を十分理解出来なかった場合は Ninebot に乗せないでください。
- 2 運転中必ずヘルメットを着用してください。
- 3 体調不良の場合やマニュアルの指示を守らない場合、また酒気を帯びている方は絶対に運転しないでください。
- 4 安全のためバッテリー残量が少ない時は ninebot から降りて、速やかに充電してください。
- 5 ハンドルバーに荷物などを置いたりぶら下げたりしないでください。ninebot のバランスに影響します。
- 6 Ninebot を取り出す場合や電源をオフにしている場合はタイヤが回転して怪我をする恐れがあります。また、怪我をしない為にフェンダーから持ち上げるのは避けてください。
- 7 乗車前点検を必ず行ってください。故障を発見した場合やネジの緩みが発見した場合の運転はご遠慮ください。
- 8 マニュアル第七章は ninebot のメンテナンスです。

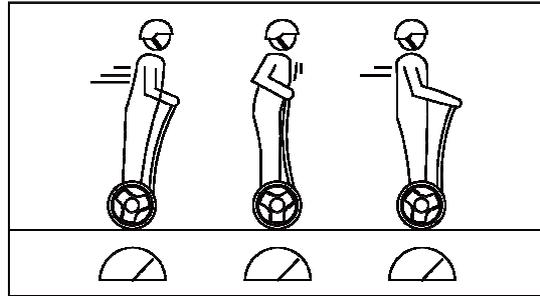
3.5 スマートシステムの説明・自動保護

- 1 前進速度が速すぎる場合：(平均4～12km/h、実際運転時 18～22km/h)になったときこれ以上の速度を出さないために ninebot ハンドルがアシストによって運転者を水平な位置まで押し戻します。このとき体をハンドルバーから10cm以上の距離まで離してください。もしハンドルバーに寄せると、Ninebot がアンバランスになり落車する可能性があります。
- 2 過剰な負荷や長時間坂に止まると、負荷が ninebot の安全値を超えた場合。

ナインボットユーザーマニュアル

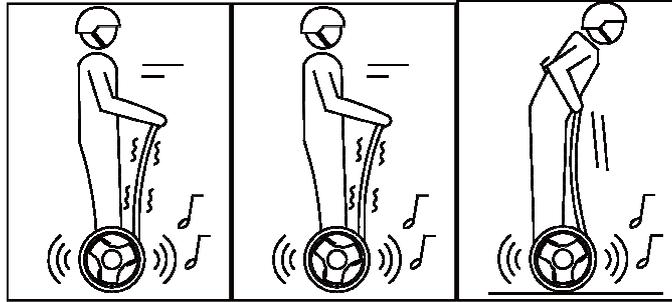
(例: 坂、窪み、規定外の運転者の体重、長時間停車、連続した負荷などの場合)スマート安全システムが作動し、フットマットが後ろに傾き、運転者に降りるよう指示します。このとき運転者は ninebot から降りてください。スマート安全システムが作動してから5秒後スリープ状態になります。そのまま乗り続けると落車する可能性があります。

3 バッテリー残量不足 バッテリー残量40%以下の時、最高速度を規制します。通常バッテリー残量30%前後の場合には最高速度は 14km/h以下に制御されます。



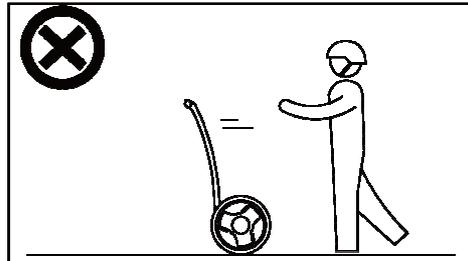
スピードリミット

4 バッテリーが低残量(10%以下)の時スマート安全システムが作動します。スマート安全システムが作動したら ninebot から降りてすぐに充電してください。連続的に乗車するのはご遠慮下さい。



後退のスピードが速すぎる 急斜面や坂での停車時間が長すぎる バッテリー残量が少ない

- 5 運転者がハンドルバーを支えない場合、Ninebot はアシスト状態で自動的に安全システムが作動します。警報後も速度を下げない場合は数秒後に自動的にスリープモードに入ります。このとき必ずハンドルバーを離さないでください。



アシストモードの状態の時に手をハンドルバーから離さないでください

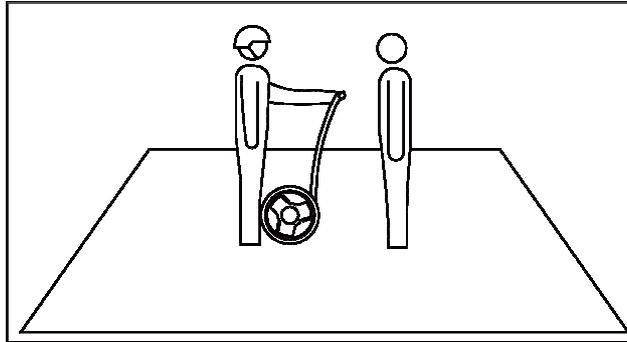
- 6 内部故障 スマートシステムが Ninebot の内部故障を探知した場合 (バッテリーパワーダウン、バランスコントロールコードが故障) すぐに安全システムが作動します。このときは速やかに Ninebot から降りて弊社のサポート部にご連絡ください。



第四章 運転の方法

4.1 運転する前の準備

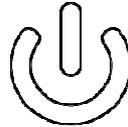
- 1 初めて運転する時、周囲に何も無い広い場所で乗車してください。室内では六畳以上の周りに何も無い場所、外では平坦・滑りにくい・濡れていない・障害物(自動車、自転車、歩行者、ペット、気の散る物)と十分な距離が保てる場所を選んでください。



- 2 インストラクターはマニュアルや安全ビデオを見て理解した運転経験のある方。
- 3 必ずヘルメットとプロテクターセットを装着してください。
- 4 Ninebot を安全な場所まで移動してから乗車してください。
- 5 リモートキーの全ての機能を把握し、使用できるようにしてください。

4.2 Ninebot を起動(電源オン)

リモートキーを使用して、スタートボタン/クローズボタンを押してください。Ninebot が起動したら音が鳴りデジタルパネルが順次表示されます。最終はバッテリー残量と速度情報を表示します。これでスタート成功です。



リモートキーの電源ボタン



電源オンの時、フットマットは水平に保ってください。

初めて Ninebot を運転する時、1人で乗車しないでください。安全のために練習プロセスを3分以上手順に従って練習してください。

4.3 乗車前の注意事項

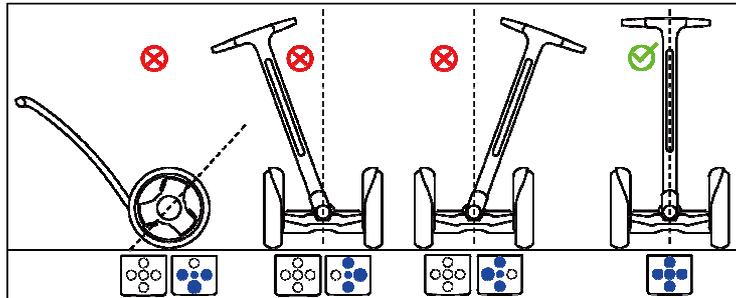
Ninebot の後ろに立ち、必ず両手でハンドルバーを握ってください。フットマットの角度とハンドルバーの角度を地面と水平にしてください。フットマットの間にある状態表示パネルに五つのブルーライトを表示しています。状態表示パネルが正常に動作していると Ninebot は正常に準備しています。フットマットを軽く踏んで、「ビー」の音が聞こえた後、Ninebot はバランスをとります。その後乗車出来ます。フットマットとハンドルバーが平行ではない状態やフットマットの均衡が保たれない場合は、状態表示パネルのブルーライトが消えます。この場合は Ninebot が正確な準備状態に入っていません。調整して正確にバランスが取れるようにした後、乗車してください。



電源をオンの状態以外では乗車しないでください。このときバランスモードではないので乗車されますと転倒します。バランスモードの状態以外では絶対に乗車しないでください。



電源オン時、デジタルパネルから不正アイコンが表示された場合は7.[Ninebotセンサーを再補正]を参照してください。



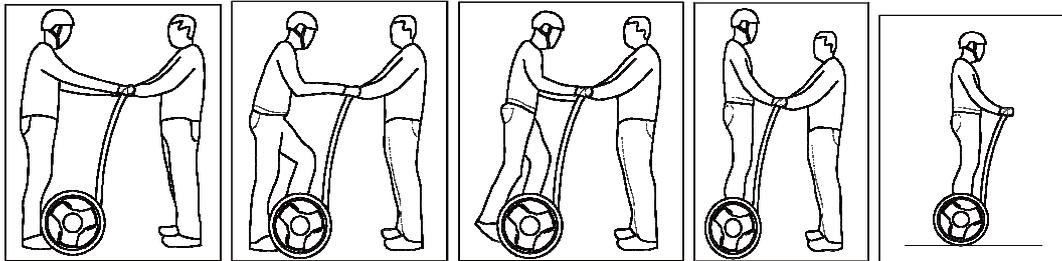
フットマットのライトが片面のみ点灯、もしくは全面消灯の場合はエラー状態です。

一度電源を切り、再度電源を起動する時ライトが全灯すれば正常です。

4.4 乗車及びバランス取り

Ninebot は最短で約3分間の練習で運転可能になります。初めて乗車される時は緊張して力が入り、安定しにくい可能性があるのでインストラクターは Ninebot の前でハンドルバーをしっかりとってください。

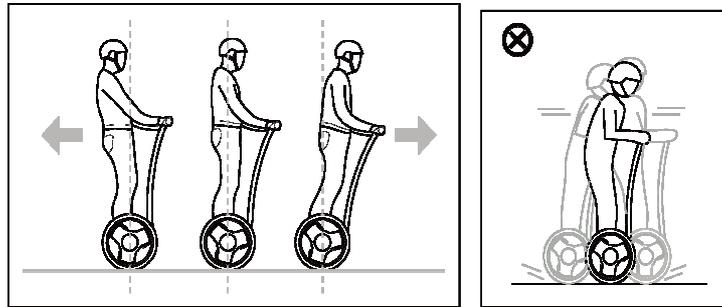
1. 両手でハンドルバーを持って、目は前方に向けてください。
2. 片足からゆっくりとフットマットに乗せます。
3. 体の中心をフットマットの間においてもう片方の足を乗せます(階段を登る感覚を想像してください)。
4. このときハンドルバーは水平を保ち、動かさないでください。力を抜きリラックスして視線は前に向けてください。下図参照。



初めの乗車時前後に揺れる可能性があります。Ninebot のバランス力を信じて力は抜いてください。体が慣れてくると徐々に安定してきます。

4.5 前進/後退

- ゆっくり前に重心を傾け、前進を感じてください。そして後ろに重心を傾けて減速及びストップを体験してください。最初は速度を上げないでください。重心でコントロールする感覚を掴むために何回か繰り返し練習してください。



後退 停止 前進

むやみに揺れないでください。



初めて運転する時は力を抜いてゆっくり動いてください。体がリラックスするほど安定します。落車しないために体の重心を意識してください。

- 後退する場合は後ろを確認しながら重心をゆっくり後ろに傾けてください。Ninebot が後退していきます。後退後は重心を元の位置に戻してください。Ninebot が減速・停止します。慣れるまで繰り返し練習してください。

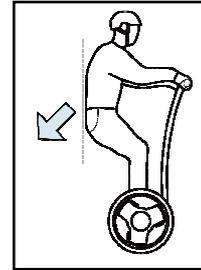


後退走行は正常な動作ではありません。前進の代わりにはなりません。長く後退走行をする場合はNinebotから降りて歩いて後退してください。後ろに進みたい場合は旋回運転をしてください。後退走行のスピードが速すぎると、センサーが反応し、震えると同時にアラームが鳴ります。

4.6 ブレーキ

体の重心を運動方向の反対方向に移動すればNinebotを停止させることができます。方法は次の通りです。

1. 前進中にゆっくりとお尻を引きます(イスに座る感覚を想像してください)。Ninebotを停止させます。
2. 完全に止めた後、体の重心をペダル中央に移動させて安定性を保ちます。後ろに傾け続ければ、Ninebotは後ろへ移動します。Ninebotは完全に停止することが困難です。何度も停止する練習をしましょう。



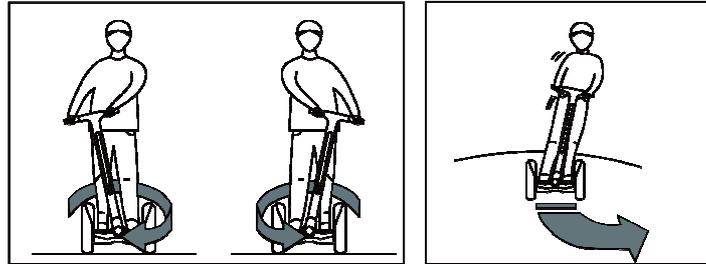
標準後退動作



停止する時はできるだけ緩やかに操作してください。急ブレーキは緊急時以外しないでください。体の重心をゆっくりと移動方向から戻します。Ninebotをゆっくりと停止させます。平らなアスファルト道路を高速で走るNinebotの緊急制動距離は約6メートルです。余裕を持って減速してください。

4.7 回転

1. まず同じ場所で回転を練習します。ゆっくりとハンドルを移動したい方向に傾けてください。Ninebotは同じ場所で回転します。希望の方向に向いたらハンドルを戻してください。
2. 左へ、右へ何度も繰り返し練習してください。



その場で右に回る

その場で左に回る

移動中に回る

3. 移動時でもカーブができます。あなたが前進や後退およびその場で回転することも可能です。慣れてきたら後退やその場での回転、ゆっくりと前進すると同時に回転する動作を練習してください。ひざが少し曲がっている状態に保ちながら、曲がろうとする方向に傾き、重心とハンドルの角度を調節します。何度も繰り返し練習してください。

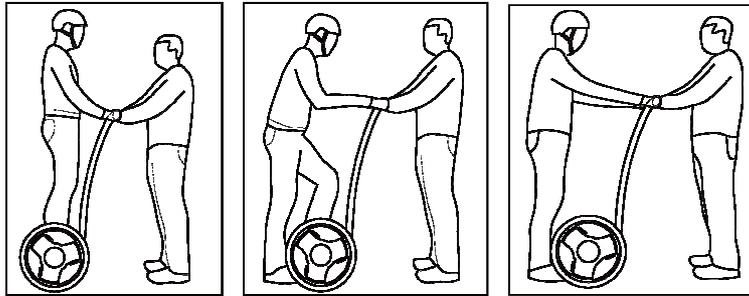


急カーブは大変危険です。バランスを失い転倒します。カーブは減速し、徐行をしながら回転方向に体を傾けて安定性を強めてください。

4.8 降りる

降りる時はフットマットを地面と平行に保ち静かに下車してください(階段を下りるイメージです)。

あなたが初めて Ninebot から降りるときはインストラクターにハンドルバーをしっかりと持ちもらいながらゆっくりと降りてください。(図1, 2, 3)



図①

図②

図③

詳しい降り方:

両手でハンドルバーをしっかりと支えてください。まずは片足から降りてください。その後もう片方の足を降りてください。体の重心を真直ぐに保ち、前後にぐらぐらせずゆっくりと降りてください。ハンドルバーを動かさないでください。

1. Ninebot から降りた後、シャットダウン前にハンドルバーを離さないようにしてください。Ninebot はバランスモードの状態なので動いてしまいます。重大な事故に発展する恐れがあるのでしっかりとハンドルバーを持ってください。



降りる際は必ずリラックスして降りてください。この時ハンドルバーを回すと車体が曲がります。降りる時は必ず力を抜いてハンドルバーを握ってください。

4.9 スピードリミット

Ninebot の電源をオンにしてリモートキーを操作します。

Ninebotを起動後、速度固定ボタンを押したら、音が鳴ります。同時にデジタルパネルに速度固定アイコンが表示されます。

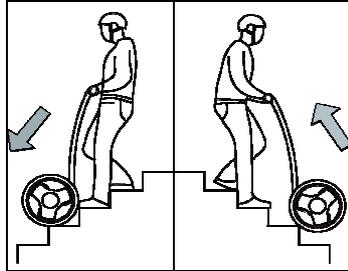
Ninedroid Appで速度固定値を調整できます。



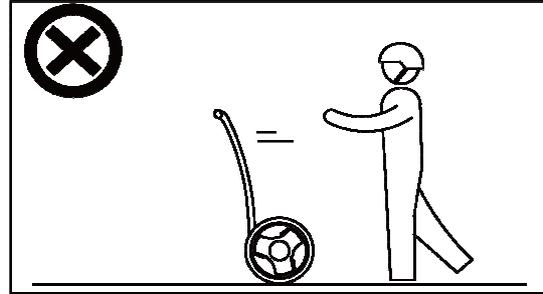
スピードリミットモードでのパネル表示

4.10 アシストモード

下車後Ninebotは運転モードからアシストモードに切り替わります。(スリープ状態の時に足でフットマットをタッチすれば音が鳴りアシストモードに変わります)このときNinebotは動作しますがアシスト力は弱いです。



アシストモードを活用



アシストモードの状態を手を離さないください。



Ninebotをアシストモードにしたとき、絶対にハンドルバーを離さないください。アシストモードの状態を手を離すと3～4秒後音がなり、車体はバイブします。その後スリープ状態になります。スリープ状態のまま乗車しないでください。

4.11 ロックモード

運転終了後はリモートキーでロックボタンを押してロックしてください。ロックモード(詳しくは4. 13リモートキー及びデジタルパネルの紹介)は一時的に離れるときにいざずら盗難から守ります。ロックモードの時に他人が触れると音がなります。またロックモードはタイヤが動かなくなりますので移動は出来ません。

ロックモードは盗難やいたずらから守る機能ではありません。Ninebotが被害に遭わないためにも室内の安全な場所に保管してください。公衆の場で、置いて離れる時は見える範囲内に置いてロックしてください。長時間離れるのはご遠慮下さい。ロック機能は一時的な機能です。

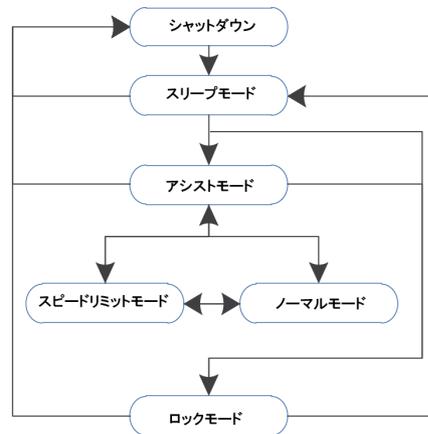


Ninebot を収納する時はリモートキーと本体を一緒に置かないでください。

4.12 各種運転モード説明

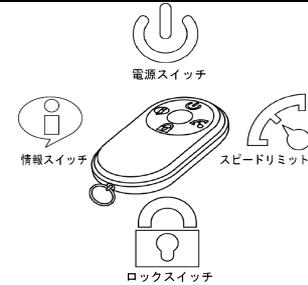
リモートキーは以下の操作が出来ます。

- 電源オフ
- スリープ
- 電源オン
- アシスト
- ロック



4.13 リモートキー及びデジタルパネルの説明

リモートキー及びボタンのイメージは図を参照してください。



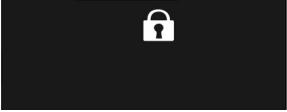
リモートキーのデザイン及び機能図

リモートキーには四つのボタンあります: 1、電源ボタン、2、ロックボタン、3、情報ボタン、4、速度固定ボタン。ボタンの操作方法は二つあります。ロングプレス・ショートプレス。ロングプレスは 1.5 秒以上、ショートプレスは 1.5 秒以内です。

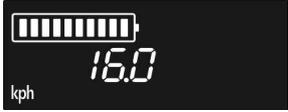
4.14.1 リモートキーの基本機能

機能	ボタン名	マーク	操作状況	操作方法	デジタルパネルの表示	備考
電源オン	電源ボタン		運転前	ショート・プレス	デジタルパネルは全てのアイコンが表示され、1 秒後バッテリー残量と速度情報など表示します。 	

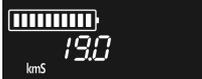
Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

機能	ボタン名	マーク	操作状況	操作方法	デジタルパネルの表示	備考
電源オフ	電源ボタン		降りた時	ロングプレス	デジタルパネルは表示してから徐々に消えます。	
スリープ	電源ボタン		アシストモード	ショート・プレス	-----	
ロック	ロックモードボタン		降りて運転しないとき	ショート・プレス	デジタルパネルの情報はロックロゴだけ表示します。移動するときは三角矢印が点滅します。 	
ロック解除	ロックモードボタン		ロックモード	ショート・プレス		
スピードリミット	スピードリミットボタン		ロックされていないとき	ショート・プレス	デジタルパネルにスピードリミットアイコンが表示されます。デジタルパネルに設定した速度が約3秒間表示されます。その後3秒後に通常の表示に戻ります。 	

ナインボットユーザーマニュアル

機能	ボタン名	マーク	操作状況	操作方法	デジタルパネルの表示	備考
スピードリミット解除	スピードリミットボタン		スピードリミットがオンの時	ショート・プレス	スピードリミットアイコンがなくなり、スピードリミットが解除されます。 	
Bluetooth オン	スピードリミットボタン		スリープモードとアシストモードの時	ロングプレス	Bluetooth が未接続時は Bluetooth アイコンが点滅、携帯と接続時は Bluetooth アイコンが表示されます。 	
Bluetooth オフ	スピードリミットボタン		スリープモードとアシストモードの時	ロングプレス	Bluetooth をオフにすると Bluetooth アイコンが無くなります。 	

Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

機能	ボタン名	マーク	操作状況	操作方法	デジタルパネルの表示	備考
Ninebot 情報検索	情報ボタン		電源オンでロックがされていない時	ショート・プレス	<p>情報表示の切り替え順番: kph, kmS, kmT, Tim, ° C, Vf</p>      	<p>Kph: 瞬間速度。 kmS: 走行距離。 kmT: 総走行距離。 ° C: ninebot の内部温度。 Tim: 走行時間。 Vf: ファームウェアバージョン。</p>

4.13.2 リモートキー機能の拡張

機能	ボタン名	図	操作状況	操作方法	デジタルパネル表示	備考
リモートコントロールオン	情報ボタン		スリープ/ アシストモード	ロング プレス		ハンドルバーを取り外した状態もしくは レッグコントロールバーを取り付けた 状態のみ リモートコントロールが使用可能です。
リモートコントロールオフ						フットマットを軽くタッチしてリモートコントロールモードを終了することができます。その後アシストモードになります。
センサーの 較正	電源ボタン		ロックモード	4回ショート プレス	ロックモード	較正時はハンドルバーを真真中に保ち 約3秒間完全に静止させてください。
ノーマルモードでの最大 速度調整	スピードリミットボタン		スピードリミット解除	ショート・ プレス	デジタルパネルに 現在リミット値を表示	最大 20 km / h まで調整可能です。
	情報ボタン		中/未ロックモード	ショート プレス		最小 11 km/h まで調整可能です。

Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

機能	ボタン名	図	操作状況	操作方法	デジタルパネル表示	備考
スピードリミットモードのリミット値を調整	スピードリミットボタン		スピードリミット/ロック	ショートプレス	デジタルパネルに現在のリミット値表示	最大 10 km / h まで調整可能です。
	情報ボタン			ショートプレス		最小 4km/h まで調整可能です。
車体のパラメータ校正	スピードリミットボタン		ロックモード	ロングプレス3秒	ロックモード	Ninebot は必ず地面と水平に固定してから校正してください。

4.13.2 デジタルパネル上のアイコン

名前	説明	デジタルパネル表示	備考
起動時のデジタルパネル表示	起動時にデジタルパネルが表示されます。		
デフォルト表示	Ninebot をスタートさせた後バッテリー残量アイコンと速度アイコン以外全て消灯します。		

ナインボットユーザーマニュアル

名前		説明	デジタルパネル表示	備考
アラームの種類	バッテリーのローパワーアラーム	バッテリー残量ゲージが空白表示の場合は、バッテリー残量アイコンと三角形のアイコンが点滅します。		
	オーバーヒートアラーム	本体内部温度が高くなりすぎると、デジタルパネルの温度警告アイコンと[°C]が点滅します。数字は現在の温度値です。		
	他のアラーム	他のアラーム情報が有る場合は三角形アイコンが点滅します。数字は現在のアラームコードです。アラームを解除したら表示は消えます。		アラームコード/故障コードの意味及び原因及び処理方法をホームページのサービス&サポート動画を参照してください。詳しくはNinedroid App.をインストール。ご自身で分解・修理を行わないでください。
故障情報		自動回復できない故障が発生した場合、故障指示アイコン点滅します。数字は現在の故障コードです。故障解除後故障アイコンは自動的に消えます。		

第五章 その他の機能紹介

5.1 愛車と共に

Ninebot は軽くて便利でエコです。走行距離は 20～40 キロ(バッテリーによって異なる)です。車のトランクの中に12V～15A のコンセントを設置しておけば、シガーソケットと繋ぐだけで充電できます。(Ninebot の車載充電器をご購入ください)充電所用時間はバッテリーの定格出力により異なります。



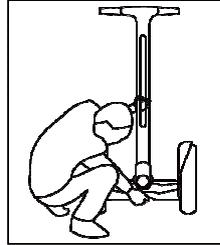
Ninebot の車載充電器の定格入力130W で、定格入力電圧は12～28V です。自動車のシガーソケットの出力は約12V です。車載充電器の定格入力電圧範囲内ですので、15A 以上の電流が出力でき、定格出力電圧が24VDC を上回らないシガーソケットがあれば充電できます。上記以外のシガーソケットを使用される場合は危険をもたらす恐れがあります。



Ninebot の車載充電器は自動車の運転している時と限っています。自動車のバッテリーの容量より大きい Ninebot のバッテリーに充電してしまうと、自動車のバッテリーが切れる恐れがあります。

5.2 スタンドの利用

パークスタンドが取り付けられています。持たれかけさせる場所が無い場合、パークスタンドを使用して、Ninebot を自立させることができます。



パークスタンドを開く



パークスタンドはシャットダウンした時、ロックした時、パーキングの時、のみ使用できます。Ninebot を離れる場合は必ずシャットダウンしてください。

パークスタンドを出している時はフットマットに立たないでください。また、動かさないでください。怪我をする恐れがあります。

5.3 リモートキーでの操作

レッグコントロールバーをご購入頂きましたら、リモートキーを使用して、Ninebot をコントロールすることも可能です。

- 1、ハンドルバーを取り外し、レッグコントロールバーを取り付ける。
- 2、リモートキーで起動させる。
- 3、リモコンの〔情報スイッチ〕を約2秒押し続けて、〔リモコンモード〕に切り替えられます。この時、リモコンモード切替完了のブザーが2回鳴ります。ハンドルバーを外さない場合は、リモコンモード切替不可のブザーが3回鳴ります。また、さらに便利な〔Ninedroid〕というスマートフォンのアプリケーションを使ってコントロールできます。
- 4、この状態でリモコンの「前進」「後退」「右折」「左折」との4つのボタンを使って、Ninebot をコントロールできます。

5. 再びリモコンの[情報スイッチ]を約2秒押し続けたら、[リモコンモード]からハンドルバーで操作できる[ノーマルモード]に切り替えることができます。この時[ノーマルモード切替完了]のブザーが2回鳴ります。



不適切なリモコン操作により、周りの安全を脅かす恐れがあります。人の多い場所での使用は禁止します。不適切な操作により、人身傷害や財産損失が起きた場合、Ninebot Inc.は一切責任を負いません。

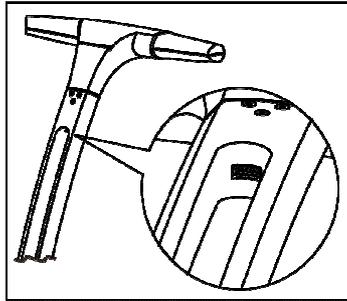


リモートキーを使用するデフォルトの状態では、最高速度は5km/hです。ninedroidを使って、最高速度を調整することができます。

また、リモコンと本体の有効操作距離は10～15mです。これ以上離れられますと、リモコンを操作していても、速やかに反応できなくなったり、自動停車したりすることがあります。

5.4 ninebot の車載 USB ポートを使用して他の電化製品への充電

ハンドルバーに USB ポートを設けています。5V/1A の出力ができます。USB ケーブルを経由してほかの電化製品への充電ができます。



Ninnbot の USB ポート位置



この USB ポートは充電専用です。データの転送はできません。最大出力は 5V/1A です。出力電流が 1A を超える ipad のような高い電流を必要とする設備に使わないでください。デジタルパネルの電源が切られ、安全運転に悪影響を及ぼす恐れがあります。また、この USB ポートの充電は Ninebot が起動されている状態でのみ使用できます。

5.5 高さの異なるハンドルバーの交換

- ノーマルのハンドルバーは身長が 150cm～190cmまで対応出来ます。身長が 190cmを超えるドライバーには、長いハンドルバーのご購入をおすすめします。
- 長いハンドルバーは通常のハンドルバーより140mm 長く、身長が 170cm～210cmのドライバーに適応します。身長が 160cm より低いドライバーには、短いハンドルバーが必要となります。
- 短いハンドルバーは通常のハンドルより110mm 短く、130cm～170cm のドライバーに適応します。
- マニュアルを参照しながら交換するほか、Ninebot Store でスタッフに交換してもらえます。

5.6 タイヤ交換

連続使用による摩損の激しいタイヤをそのまま使用し続けると、安全運転に悪影響を与えます。タイヤの溝が1mm 以下になった場合、即タイヤ交換をお願いします。パンクした場合も同様です。

Ninebot はタイヤが専用設計で、一般的なタイヤとの交換はできません。指定されたタイヤのみの使用と交換になります。タイヤのトラブルの場合、直ちに近くの Ninebot store にお越しください。近くに Ninebot store がいない場合、販売会社へ返送してください。タイヤホイールを外す行為は禁止です。

5.7 Ninebotセンサーを再補正

全てのNinebotは出荷時に車両内部の姿勢センサーとピックアップセンサーを正確に補正、通常での使用環境や温度の下で二次補正する必要はありませんが、使用環境が大きく変化する気候の土地（例えば環境の温度や湿度の激変）の場合、センサーのドリフト現象でハンドルバーが地面と平行でも自然にカーブしていきます。このような現象を発見された場合は、Ninebot内部のセンサーの再補正が必要です。

補正の方法とは:

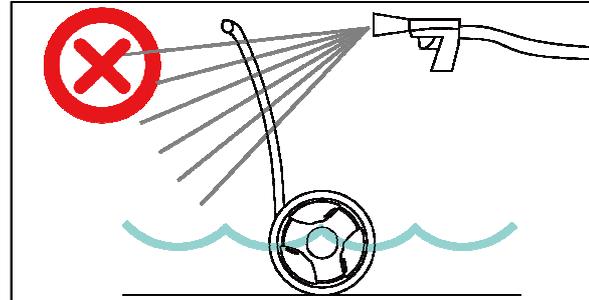
- 1、ハンドルバーセンサーの補正: Ninebotをスタートさせた後にリモートキーでNinebotをロック状態にします。ハンドルバーが力を受けない状態で、連続でスピードリミットボタンをショートプレスするとブザーが4回鳴ります。同時に、状態指示パネルに周りのLEDライトが時計回りで点灯します。較正が完了した後で、状態の指示パネルの周りのLEDが消灯していきます。成功を状態指示パネルで確認。もし補正失敗の場合(ハンドルバーが真ん中から離れすぎる場合)、失敗したら車両は3回ブザーが鳴り、デジタルパネルライトも三回点滅します。

- 2、姿勢センサーの補正:まずNinebotをロックモードに設定し、そしてNinebotを必ず静止の状態(Ninebotを壁に立てかける又はパークスタンドで平地に自立させる)、リモートキーの情報スイッチボタンを連続ショートプレスで4回押します。ブザーが4回鳴ります。同時に、状態は指示パネルに周囲のLEDライトが反時計回りに点灯し、その後Ninebot姿勢センサー補正モードに入り、補正過程の約3秒後ブザーが2回なります。そして状態表示パネルの上の周りのLEDライトも消灯します。補正失敗(通常は、補正の過程の中で車両は大きく揺れ)、車両はブザーが3回鳴り、表示パネルライトも3回点滅します。なお、スマートフォン用アプリケーションNinedroidでも補正できます。

第六章 日常メンテナンス

6.1 お手入れと保管

- 長く快適にお使い頂く為にも、使用後は綺麗にしてください。
- 柔らかい布を水で湿らせて車体を軽く拭いてください。
- 家庭用シャワーノズルが使用できます(水圧1Mpa以下、または145PSI) 洗浄タイヤやフェンダーを洗います。洗浄後は錆を防止するためにも素早く乾かしてください。
- プラスチックの表面に落ちにくい汚れがある場合、歯磨き粉を使用し、歯ブラシで繰り返し洗ってください。それから湿った柔らかい布で拭いてくださいこの方法は表面の引っかき傷を防止することができます。
- 使用しない場合、できるだけ室内で乾燥し、日陰の涼しい所で Ninebot を保管してください。長時間屋外で保管するのはさけてください。屋外などの高温多湿になりやすい環境での保管は Ninebot の劣化を加速させます。



Ninebotを洗浄する場合、電源を切って、充電口の周りを防水してください。感電や故障になる恐れがあります。

高圧洗浄機など高圧水流での洗浄、または車体を水に漬けることは厳禁です。内部に水蒸気や水が貯まり、故障が発生し修理できない可能性があります。



アルコール、ガソリン、灯油、アセトン、シンナーや他の腐食性/揮発性の化学溶剤で車両を拭くのは厳禁です。これらの物質は Ninebot の外観と内部構造を破壊します。

6.2 バッテリーパックのメンテナンス

バッテリーパックはNinebot製品に最も必要なメンテナンスの部品です。メンテナンスの良好なバッテリーパックは使用後2～3万キロ後も良好な性能を維持出来ます。メンテナンス不良のバッテリーパックは数ヶ月後で容量不足や劣化が発生します。バッテリーパックの使用期限を延長するために以下の提示の通り定期メンテナンスをしましょう。

- 1 バッテリーパックの表面上の注意事項ラベルをよく読んで守ってください。
- 2 バッテリーパックは0°C～40°Cの乾燥した環境で保管してください。高温や低温環境ではバッテリー寿命に影響します。氷点下20°C以下または50°C以上の環境での使用や保管は避けてください。
- 3 バッテリーパックはなるべく涼しく乾燥した環境で保管してください。多湿の環境の中ではバッテリーパック内部に水が貯まる可能性があり、バッテリーパックが壊れる可能性があります。もし多湿の環境での保管が避けられない場合は保存袋に入れて保存してください。
- 4 日常使用ではバッテリーパックを完全に使い切ることを避けてください。デジタルパネル表示量1～2の時は直ちに充電してください。毎回使用後にバッテリーパックを満充電してください。充電を頻繁にされるとバッテリーパックを傷つけませんがバッテリーパックを長期間使用される場合バッテリー容量や寿命に影響します。
- 5 バッテリーパックを装着して保管している場合、Ninebot内のリモコン受信装置は持続的にバッテリーを消耗します。
 - A 短期間(30日以内)使用しない場合や、輸送時間30日未満のときはできるだけ事前に満充電をお勧めします。
 - B 長時間(30日以上)不使用や輸送時間30日以上を越える場合は、バッテリーの充電が完了した後バッテリーを外して単独で涼しい乾燥した場所で保管してください。

C 超長時間(180日以上)バッテリーを単独保管の時は、電池容量や劣化防止のために3~4ヶ月毎に再充電して保管してください。



バッテリーパックが満充電の場合、スリープ状態で約 90~100 日後電量がなくなります。バッテリー容量切れに近い状態では約 10~20 日後電量がなくなります。その前に充電しないとバッテリー量を使い過ぎてしまいバッテリーが破壊し、修理は不可能となります。このような破損は保証範囲外です。

6.Ninebot のバッテリーパックは安全なリチウムバッテリーであり、多重保護機能を持つメインボードを装備しており、国連/国際航協 UN38.3 航空運輸測定認証、1.2mからの落下試験認証、UL 認証、を合格。危険や環境汚染を防止する為に重いものをバッテリーパックに落とさないこと。火や水の中に投入しないこと。航空会社と運送会社(UPS、DHL、TNTなど)はNinebotのバッテリーパックを運送できる。但しUN38.3 試験報告、その他の試験認証を提出する必要がある。Ninebot ホームページの[サービス&サポート]でこのような試験報告と認証の素材がダウンロードできる。もしくは、アフターサービスのサポート部門にご連絡下さい。注意すべきことは、航空運輸の規範の変更と各航空会社の各空港の安全施策によって全ての運送会社が Ninebot のバッテリーパックの運送を受け付けることは保証できない。

6.3 ねじの取り付けと取り外し

ねじを取り付ける際はねじが壊れない程度に出来るだけ強く締め付けてください。

ねじを締め付ける際は以下の手順で行ってください。

六角レンチを使用する際は必ずボルトの穴に確実にはめ込んでください。

1. ねじを締め付ける順番は必ず図のように行ってください。
2. ねじを締め付ける際は一回で完全にきつく締め付けないうでください。
3. ねじを締めた後は更に1/3~1/2回転締め込みます。

6.4 ねじの締め付け点検

Ninebotのすべてのねじはすべて緩み防止処理をしています。但し安全の為に定期的にNinebotStore(あるいは自分で点検する)で点検してください。ハンドルバー、バッテリーパック、フェンダー、フットマット、デジタルパネルなどの部品を点検してくださいもし、異常があれば付属の工具でねじの緩みや破損を点検して、ねじを締めこむなどの処置をしてください。

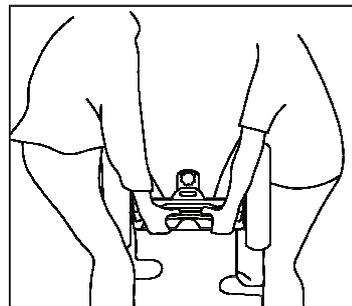
6.5 タイヤ気圧点検

通常使用条件の下で、Ninebot のタイヤ気圧は 10～15PSI(70～100kPa)です。最高気圧は 25PSI(170kPa)までです。高い気圧はタイヤへのダメージが少なくバッテリーパックの航続可能距離を延長しますが、衝撃吸収性はよくありません。低い気圧はタイヤへのダメージが多くなりバッテリーパックの航続可能距離が短縮されますが、衝撃吸収性に優れています。

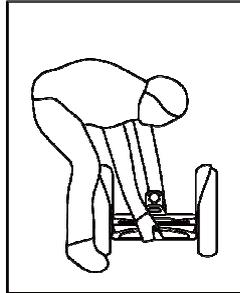
6.6 運搬、自動車のトランクに入れる

合理的な方法を使って Ninebot を運搬してください。以下の手順に従ってください::

1. Ninebot 電源のオフを確認
2. もし Ninebot をトランクに入れる場合は、ハンドルバーを取り外してください。
3. 出来るだけ 2 人以上で作業してください。
4. 1 人で運搬する場合 Ninebot の前と後ろのバッテリー部分を持って持ち上げます。



運搬中は手から滑りやすいのでご注意ください。特にリアキャップが滑りやすいので運搬時にはご注意ください。



6.7 定期メンテナンス

Ninebot 上で自ら修理できる部分はネジの締め、タイヤやフェンダーの交換、バッテリー交換のみです。その他の部位を解体しないでください。もし解決できない場合は弊社サポート部門にご連絡ください。

安全と最高の性能を維持するために Ninebot を定期的に Ninebot ストアでメンテナンスする必要があります。以下の表は弊社が提案した定期的なメンテナンススケジュールです。最初のメンテナンスは無料で提供します。

メンテナンス項目	三ヶ月/2000 km	一年/5000 km	二年/ 10000km	三年/ 15000km	三年目以降半 年毎/ 3000km	備考
表面クリーニング	√	√	√	√	√	無料
フットマットの破損	√	√	√	√	√	無料

ナインボットユーザーマニュアル

メンテナンス項目	三ヶ/2000 km	一年/5000 km	二年/ 10000km	三年/ 15000km	三年目以降半 年毎/ 3000km	備考
取り付け部品の緩み	√	√	√	√	√	無料
オイル交換	√	√	√	√	√	
リモートキー電池交換		√	√	√	√	
バッテリーパック寿命 の点検	√	√	√	√	√	
バランスセンサーの 較正	√	√	√	√	√	無料
ファームウェアバー ジョンアップ	√	√	√	√	√	無料
タイヤ摩耗度点検	√		√		√	

Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

メンテナンス項目	三ヶ/2000 km	一年/5000 km	二年/ 10000km	三年/ 15000km	三年目以降半 年毎/ 3000km	備考
ライトの点検	√		√		√	
フットマット交換			√			2年毎もしくは1万キロ 毎に交換
ステアリング軸劣化 点検			√			2年毎もしくは1万キロ 毎に交換
内部回路点検		√		√		2年毎もしくは1万キロ 毎に交換
電機/ハーネス劣化 点検		√		√		2年毎もしくは1万キロ 毎に交換
気密性の点検		√		√	√	3年毎もしくは2万キロ 毎に交換
ギアボックス関連と				√		3年毎もしくは2万キロ

ナインボットユーザーマニュアル

メンテナンス項目	三ヶ/2000 km	一年/5000 km	二年/ 10000km	三年/ 15000km	三年目以降半 年毎/ 3000km	備考
----------	---------------	---------------	----------------	----------------	-------------------------	----

カップリング交換

毎に交換

その他項目

Ninebot Store の専門ス
タッフに問い合わせ



内部構造は非常に精密であり、自らで分解されると安全に影響を与えます。Ninebot 専門スタッフ以外の人が無断で Ninebot を分解されますと当該製品の保証資格を失います。個人の解体による全ての損害・故障・財産人身損害に Ninebot Inc.は一切の責任を負いません。



アフターサービスに関する情報は Ninebot ホームページにアクセスするか

フリーダイヤルにご連絡ください。

(日本国内)

アフターサービス部門迄

第七章 Inside Ninebot

•Ninedroid App(スマートフォン用アプリケーション)

Ninebot の全モデルはすべて NinedroidApp スマートフォン用のアプリケーションに対応しています。NinedroidApp は Bluetooth を使用して Ninebot に接続可能です。デジタルパネル、故障箇所の自動診断、Ninebot をリモート・コントロール(C型は非対応)、個人の特性を記録できます。記録したデータをソーシャルシェアすることもできます。iPhone ユーザーは AppleAppStore で最新の NinebotDroid をダウンロードしてください。Android 携帯電話ユーザーは Ninebot 公式サイトの“サービス&サポート”のチャンネルで Android バージョンのアプリをダウンロードできます。この app はヘルプファイルを含めて全て無料です。他の Ninebot ユーザーと交流して、PC あるいはスマートフォンを使って club.ninebot.com をアクセスすることができます世界中の Ninebot ユーザーとコミュニケーションを行い、個人のテクニック、使用経験、動画などをシェアできます。NinedroidApp は SNS 機能を持ち、App を使って SNS サイトへ直接アクセスできます。

•より詳しい情報

Ninebot を更に詳しく知るために“Ninebot の理解を深めるため”のファイルを参照してください。このファイルではより詳しく Ninebot の動作原理や各機能を紹介し、お手入れの詳しい方法、バッテリーパックの寿命を延ばす方法、より安全に Ninebot を運転する方法、内部ファームウェアのアップデート方法、などが記載されています。このファイルは付属のデータディスクに保存され、Ninebot 公式サイト(www.ninebot.com)でも最新バージョンのダウンロードができます。Ninebot は多数のオプションパーツと外装があります。Ninebot を更に個性的にできます。詳しくは“Ninebot の選べるパーツ”のファイルを参照してください。このファイルは付属品のデータディスクに保存され、Ninebot 公式サイト(www.ninebot.com)でも最新バージョンのダウンロードができます。

•Ninebot Inc.は随時ホームページで最新のバージョンアップ SDK と通信インターフェイス API、および第 3 者により開発された DEMO などの技術データを公開しています

•Ninebot 公式サイトに注目してください。最新の製品専用オプションパーツ紹介、アップグレードのドライバーファイルや限定版の外装パーツが紹介されています。

付録1.Ninebot シリーズスペック表

パラメータ	ユニット	モデル c(快適性)	モデル e(エリート)	モデル t(ターボ)	備考
カラー		シルバー+ ホワイト +ライトブルー			カラー外装オプション
材質		マグネシウム合金+アルミニウム合金+LEXAN 樹脂			
総重量	Kg	~22	~23	~25	
サイズ	mm	390×590×1100~1400			L x W x H
梱包重量	Kg	~21	~22	~23.5	ハンドルバー・充電器を除く
梱包サイズ	mm	390×590×400			ハンドルバー・充電器を除く
適応身長		1.3~1.7m/1.5~1.9m/1.8~2.1m ハンドルバーは3種類の長さから選択可能。 790mm、900mm、1040mm の長さに対応する			1.5~1.9mは標準付属、 その他の 2 種類はオプション
本体梱包サイズ	mm	620×444×470			
ハンドルバー 梱包サイズ	mm	1140×140×95			

Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

パラメータ	ユニット	モデル c(快適性)	モデル e(エリート)	モデル t(ターボ)	備考
耐荷重量	Kg	100		120	実際の耐荷重量は運転習慣やバッテリー残量などで多少異なります。
最大出力	Kw	2	2.7	3.5	最大出力の持続時間は10秒以内。
最高時速	Km/h	18	20	22	バッテリー残量により多少異なります。
航続可能距離	Km	>20	>20	>30	体重が 75 kg で時速 15 km/hの場合。
登坂角度	度	15°	15°	15°	体重が 75Kg で満充電の時にアスファルトの坂道での場合
適応路面		セメント道路、アスファルト道路、平地、石畳のみ走行可能。但し私道に限ります。公道での乗車・走行は法律違反です。泥路、砂路は走行不可。			
デフォルトスピードリミット		スピードリミットモードでのデフォルト設定では 5km/h に設定されています。リモートキーでスピードリミットの設定ができます。			NinedroidAPP でスピードリミットの設定と保存が可能。4Km/h ~ 12Km/h

ナインボットユーザーマニュアル

パラメータ	ユニット	モデル c(快適性)	モデル e(エリート)	モデル t(ターボ)	備考
電圧/バッテリーパック容量		標準バッテリーパック 55V/450Wh	標準バッテリーパック 55V/450Wh	高容量バッテリーパック 55V/670Wh	バッテリーパックの充電 回数は約1000回
タイヤ/リムサイズ		85/50-12 オリジナルタイヤ 12×2.75 樹脂合金リム			
バックアップ・コントロール・システム	バッテリー	有り			バッテリーパック2個で1 セット
	パワーマネジメント。	有り			
	ジャイロシステム	有り			
	配線	有り			
	モーター	無し	無し	有り	Double stator winding 構造
	モーター制御装置	無し	無し	有り	バックアップ構造
リモートキー		1x	2x	2x	障害物の無い場所での 有効送受信距離 5~10m
充電器 / 満充電時間		標準充電器 x1 130w 満充電に 4 時間	標準充電器 x1 130w 満充電に 4 時間	標準充電器 x1 300w 満充電に 3 時間	110V/220V はオプション で選択可能もしくは自動 適応。プラグは3口プラグ です。

Ninebot®PTR ユーザーマニュアル

パラメータ	ユニット	モデル c(快適性)	モデル e(エリート)	モデル t(ターボ)	備考
モード		スリープモード、アシストモード、スピードリミットモード、ノーマルモード、リモートコントロールモード、ロックモード			
ワイヤレス接続	Bluetooth 接続	ワイヤレスリモートファームウェア更新と故障箇所の自動診断(ninedroid アプリで行っています。)			
	リモートコントロール	サポート無し	Bluetooth によるリモートコントロール。 オプションのレッグコントロールバーが必要。	Bluetooth によるリモートコントロール。 オプションのレッグコントロールバーが必要。	
デジタルパネル		日差しの下でも読み込み可能。自動輝度調整機能/バッテリー残量/走行距離/速度/運転時間/内部温度/ファームウェアバージョン。 スピードリミットモード/リモートコントロールモード/ロックモードの切り替え。 Bluetooth 接続状態表示。アラームメッセージの表示。故障/故障コード表示。			
ライト(ノーマル)		リアストップライト、フロントムードライト、フットマット状態指示ライト(バッテリー残量およびバランス状況)。			
ライト(スペシャル)		無し	ハンドルバームードライト	ハンドルバームードライト。 フェンダーライトx2	

ナインボットユーザーマニュアル

パラメータ	ユニット	モデル c(快適性)	モデル e(エリート)	モデル t(ターボ)	備考
標準付属品		無し	アクセサリースタンドx1 パークスタンド x1	アクセサリースタンド x2 キャリーバック×1、パークスタンド×2	パークスタンドは1個装着済み1個は予備

付録 2.よくある質問

弊社のホームページで最新の Q & A を記載しています。

最新の仕様、メンテナンス方法、などを記載しています。ユーザー専用のソーシャルネットワークで質問をすれば、Ninebot の専属技術スタッフが対応します。下記によくある質問を一部記載しています。詳しく内容を知りたい場合は Ninebot ホームページの(サポート&サービス)チャンネルにアクセスしてください。常に更新されている内容はユーザーマニュアルに記載していません。Ninebot ホームページをご確認ください。Q & A 以外にもイベント情報などを随時更新しています。

Q: アラームの音が2回鳴り、デジタルパネルにドライバーマークと警告マークが表示されると同時に数字が表示される。

A: Ninebot が安全アラームで内部の故障を知らせています。ドライバーマークと警告マークと同時に表示されている数字はアラームコードです。弊社のサポート部門に連絡していただくか、ホームページの(サービス&サポート)チャンネルの(アラームコード表及び処理方法)のページで Ninebot に表示されているアラームコードと同じ数字の場所に記載されている内容を参照してください。

もし、お客様の携帯に NinedroidAPP がインストールされている場合は(故障箇所の自動診断)機能を使用して故障箇所の診断ができます。Ninebot と携帯を Bluetooth 接続し、NinedroidAPP が Ninebot 本体から自動的にアラームコードを取得し、図形化の形式でアラーム原因及び対処方法を表示します。

Q: Ninebot の保証・修理サービスはありますか。

A: 本体に保証書が付属されています。保証書に Ninebot 本体の保証内容と修理やサービスに関する内容が記載されています。保証書に保証開始日と販売店の連絡先が記載されています。必要なときに参考にしてください。

Q: Ninebot の色を指定できますか。

A: 現在 Ninebot の標準カラーは1色のみで、シルバー+ホワイト+ライトブルーです。別のカラーをご希望の場合はオプションの外装セットをご購入下さい。大量に必要な場合は Ninebot 販売店へご連絡下さい。

ナインボットユーザーマニュアル

Q: Ninebot を購入後どれくらい練習すれば上手に運転できますか。

A: 運転をできるようになるまで約3分かかりますが、上手に運転できるようになるまで数日かかります。

製品に付属されているユーザーマニュアルと使用説明の DVD を参照しながらインストラクターの下で練習してください。
レンタルの場合は現場スタッフの指導の下で練習してください。

Q: Ninebot を購入する時にナンバープレートの申請は必要ですか。

A: ナンバープレートを申請する必要はありません。道路交通法により公道での走行は禁止されています。

Q: 市販されている安い類似商品との違いはありますか

A: 弊社の Ninebot は技術レベルや安全面で優れています。

ネット上で製品の試験報告レポートや試乗車の体験レポートや第三者からの評価から判断していただけます。

お問い合わせ

Ninebot の使用中において、運転・修理・メンテナンス・安全、などの疑問・質問は下記の弊社お問い合わせ情報を参照していただきご連絡ください。

会社名: **株式会社オオトモ(日本総代理店)**
本社住所: 大阪府大阪市住之江区平林南 1 丁目 5-15
電話番号: 06-6654-3391(代)
FAX 番号: 06-6654-3309
フリーダイヤル(日本): 0120-889-396/(携帯・PHS の方はこちらから)06-6654-3169
メールアドレス: support@e-otomo.co.jp
ホームページ: www.ninebot.jp

- ※ 本製品の購入やリースには保険の加入が必要です。詳しいプランは購入時に当社もしくは販売店にご確認ください。
- ※ 保険未加入で、本製品の使用中に起きた全ての物損や人身事故に関して弊社は一切の責任負いかねますので、ご注意ください。

保証書

機種名		
保証期間	ご購入日（受取日）より1年	
シリアルナンバー		
お客様	ご住所 〒 □□□-□□□□	
	氏名 様	
	電話番号 ()	
ご購入日(商品受取日)	年 月 日	ご購入店舗名
故障状況		

※保証書にご購入日(商品到着日)をご記入ください。

本証は保証期間内において、取扱説明書及び注意書に基づいてご使用頂いたにもかかわらず、万一故障等が生じた場合、無償にて修理、もしくは交換をお約束するものです。

1. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、故障した場合には、商品と本証をご提示の上、当社へ修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理等、アフターサービスについてご不明の場合は、当社までご相談ください。
3. 保証期間内であっても下記の理由、またはこれに準ずる理由により生じた事故等については、本証は適用されません。有料修理になります。
 - ① 取扱説明書と異なるご使用による故障及び破損。
 - ② 取扱説明書に記載してある『警告及び注意』事項を守らなかったために生じた事故及び破損。
 - ③ 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）、その他の外部要因による故障及び損傷。
 - ④ 落下や輸送上による故障、破損。
 - ⑤ ご使用上の誤りや不当な修理、改造、分解等により生じた故障及び破損。
 - ⑥ ご使用後のキズ、変色、汚れ、お手入れ及び保管や取扱場所の不備により生じた故障及び破損。
 - ⑦ 当社が検品した際に明らかにご使用、事故が原因となり、故障及び破損が生じたと判断した場合。
 - ⑧ 本証の提示がない場合。
 - ⑨ 本証にご購入（受取）年月日やご氏名などが記載されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本証は、日本国内においてのみ有効です。 **This warranty is valid only in Japan.**

上記『保証期間中』に故障が発生した場合は、製品と本証をご用意いただき、弊社のサポートセンターまでにご連絡ください。

- 所定記入が空白のままですと、本証は有効になりません。
- 本証は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。